

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県における知的障害養護学校の「総合的な学習の時間」の検討 ～年間指導計画書を通して～

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部附属障害児教育実践センター 公開日: 2008-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 呉屋, 篤, 戸崎, 敬子, Goya, Atushi, Tozaki, Noriko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/5950

沖縄県における知的障害養護学校の 「総合的な学習の時間」の検討

～年間指導計画書を通して～

呉屋 篤* 戸崎 敬子**

A Study of the “Period for Integrated Study” Program at Special Schools for Children with Mental Retardation

Atushi GOYA* Noriko TOZAKI**

1999（平成11）年に告示された学習指導要領に「総合的な学習の時間」が規定され、知的障害養護学校中学部、高等部においても、他の校種と並んで2000年度より総合的な学習の時間の移行措置が開始された。当初その捉え方をめぐって一定の混乱が見られたが、実践が進められ一定の蓄積を見てきた。しかし、2007年11月には、改正学習指導要領によって総合的な学習の時間が削減される見通しであることが明らかになった。現在、総合的な学習の時間に関する実態的な総括と蓄積の検討が必要とされている。本研究では、沖縄県の知的障害養護学校中学部、高等部の年間指導計画書（1999-2005）の分析を行い、総合的な学習の時間に関する内容の推移や傾向を明らかにした。結果は次のとおりである。①総合的な学習の時間は、沖縄県のすべての知的障害養護学校において2000年度から開始された。②2000年度の内容は、前年度の教科や「領域・教科を合わせた指導」から移行したものである。③2002年度より、独自の単元が設定される傾向が見られ、以後そうした内容で定着を見せるようになった。④中学部・高等部ともに交流教育を内容とするものが多い。また、中学部では環境美化に関する内容が多く、高等部では進路に関する内容が多く見られた。

序

1. 問題の所在と本研究の課題

1998（平成10）年、1999（平成11）年に、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領が改訂され、新たに「総合的な学習の時間」が新設された（施行は、小学校・中学校は2002年度、高等学校は2003年度から）。盲・聾・養護学校においても、1999（平成11）年度の「盲学校・聾学校及び養護学校小学部・中学部学習指導要領」及び「盲学校、

聾学校及び養護学校高等部学習指導要領」の中で、「総合的な学習の時間」が設けられた。実施時期は小・中、高等学校と同時期である。また、知的障害養護学校においては、「総合的な学習の時間」を中学部から新設することになった。「総合的な学習の時間」は平成10年7月の教育審議会において実施が決定した。そして、同審議会では創設する趣旨を、「各学校が地域や学校の実態等に応じて創意工夫を生かして、特色ある教育活動を展開できるような時間を確保すること」としているが、この「総合的な学習の時間」が導入された背景には何があるのだろうか。

その背景に、導入の根拠の一つと考えられる次のデータがある。文部省（現：文部科学省）が、

* 沖縄県立名護養護学校教員（臨時教員）

** 障害児教育教室

平成10年に行った「学校教育に関する意識調査」として、授業の理解度に関して調査を行った所、小学生においては、授業の半分またはそれ以上が分からない生徒が約30%を超え、中学生は約50%、高校生に至っては約60%の生徒が授業の理解に困難を示していることが分析結果に出た。また、学校生活に関する質問では、楽しいと回答したのは、小学生で約50%、中学生で約14%、高校生においては約7%しかないという結果が出た。これらのことから、生徒達は、学校や授業に対する不満があることが考えられる。そして、こうした現状から、「学級崩壊」が教育現場で広がる様子を見せ、それに配慮して、分かる授業が提唱されることになった。このことについて、高階（1999）¹¹は、「最近の子どもの学習状況をみると、学習意欲が減退し、受験の圧力が強く、自ら学ぶ主体的な学習態度の形成を阻害している」との考えを示した。そして、このような状況を打破するために、「自ら学び、自ら考える問題解決的な学習活動を大幅に取り入れることによって、主体的な学習態度の形勢を図るならば、分かる喜び、解決できた喜びで学習意欲が湧き上がり、かえって教科の学力形勢に役に立つ」と述べた。これは、生徒が主体性をもって学習に参加することが、学習への意欲に繋がり、結果的に学力の維持増進になることを意味していると考えられる。このようにして、「総合的な学習の時間」は、教育現場において子どもが学習へ参加することをねらいに、導入されることとなった。

そして、盲・聾・養護学校においても、同審議会において、この時間が導入されることとなった。具体的には、「小学校、学校及び高等学校に準じて新たに『総合的な学習の時間』を加えて編成する」とし、ねらいに関しては「障害のある幼児児童生徒が自己の持つ能力や可能性を最大に伸ばし、自立し、社会参加するための基盤となる『生きる力』を培うこと」としていた。以上のことから、「総合的な学習の時間」は小・中・高等学校と並列して、教科別の指導に捉われない「横断的・総合的な学習」が必要であることを根拠に盲・聾・養護学校にも導入されることとなった。

しかし、実施以来、研究者や現場から、知的障害養護学校における「総合的な学習の時間」の教

育課程上の位置づけや実践等に関して、様々な意見が出されている。三浦（2001）²¹は、「教育現場では、『総合的な学習の時間』を何とかして意味のある活動にしていこうとする努力は分かるが、その展開の仕方については、未だ混沌としているようである」と述べている。これに関して、富永（2003）³¹は、「『領域・教科を合わせた指導』や『自立活動』と言った固有の教育活動があるため、小学校・中学校・高等学校の『総合的な学習の時間』を盲・聾・養護学校に適用するだけでは不十分である」と述べている。ここで富永の言う、「領域・教科を合わせた指導」とは、「特に必要がある場合は、各教科、道徳、特別活動、および自立活動の全部又は一部について合わせて授業を行うことができる」ことを指している（学校教育法施行規則第73条の11第2項）。

一方、渡辺（1997）⁴¹は、「1990年代に入り知的障害児の教育は、学習指導要領解説などを根拠にして『生活単元学習』『作業学習』中心の教育が、そして『個別指導』を機軸にして教育方法が展開される様相を示している」と述べている。このように、知的障害養護学校の教育課程では、領域・教科を合わせた指導が現場で重視されてきた。そこに、「総合的な学習の時間」が新設されることになり、論議が生じることとなった。これについて、三浦（2001）は、「『総合的な学習の時間』の取り組みに違いがみられるのは、知的障害養護学校において、これまで伝統的に領域・教科を合わせた指導である生活単元学習等が教育課程の中心を占めてきたことも要因の一つ」であり、「『総合的な学習の時間』と生活単元学習等とは、どのように峻別していくかが未だ明確になっていないのである」と述べている。

この「総合的な学習の時間」と生活単元学習の共通点及び相違点は何であろうか。まず、「総合的な学習の時間」のねらいは3つあり、(1)自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決すること、(2)学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること、(3)各教科、道徳、特別活動及び自立活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活にお

いて生かし、それらが総合的に働くようにすること、とある。また、内容は「国際理解、情報、環境、福祉・健康など横断的・総合的な課題、児童又は生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などについて、学校の実態に応じた学習活動を行うものとする」、「自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動、交流活動など体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れること」とされている（平成11年度学習指導要領）。

これらから、生活単元学習と「総合的な学習の時間」において、横断的に学習することや、子どもの興味・関心を指導の中心に置くこと、生活経験的学習であること等の共通点がうかがえる。また、異なる点として、生活単元学習では、生活に役に立つ知識や技能を各教科と関連させるといった内容知を重視するが、「総合的な学習の時間」では、問題の解決の方法を学ぶといった方法知を重視することに指導の重点が置かれるように見える。さらに、生活単元学習では、教師が課題を設定し主導するが、「総合的な学習の時間」では、子ども自身による課題設定を大切にした上で、子どもが主体となって授業が展開される点等が強調される。以上のように、「総合的な学習の時間」と生活単元学習の間には相違があるといえる。しかし、「方法論的基礎をみると、『総合的な学習の時間』と生活単元学習は、ともに体験や活動をもとに展開されることから見かけ上では差異がなくなる」（清水1997）⁵¹ ことによって、現場において混乱が生じている。

さらに、2007年11月「中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」から、2009年度には「新しい学習指導要領」が実施されることが検討されている。この背景には、2003年に行われた OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）の日本の結果が前回（2000年）の結果よりも下回った経緯がある。そのため、これまでのゆとり教育を実践しても、子どもの学力向上に直接結び付かないと判断し、学習指導要領を改訂するに至ったと考えられる。従って、基本理念は「生きる力を育むという基本理念」は変わらないとしながらも、小・中学校の標準授業時

数において国語・算数（数学）・理科・社会等の教科の授業時間は増加されるが、「総合的な学習の時間」の授業時数は削減される。盲・聾・養護学校の学習指導要領については、まだ触れられていないが、「総合的な学習の時間」が小・中学校に準じて導入された経過を辿ると今後、盲・聾・養護学校でも削減されることが予想される。

このようにして、導入に至る過程で混乱しながらも、やがて定着しつつある中で、今後は時間数の削減を図られることになったが、未だ現場における実態は検証されていない。これらのことを踏まえ、本研究では、沖縄県において「総合的な学習の時間」が導入され、2005年に至るまでの7年間、教育課程上ではどのような変化があったか、どのような目的・内容・方法で実践がなされてきたか、領域や教科を合わせた指導との違いは何か等を検討していく。その上で、成果や課題を明らかにし、削減されつつある「総合的な学習の時間」における意義を見出すことを目的とした。

2. 研究方法と手続き

沖縄県における知的障害養護学校中学部7校及び高等部8校の年間指導計画書（平成11～17年度）を収集し、それを基に沖縄県内で実践されている「総合的な学習の時間」の実態を把握する。具体的な分析視点は以下の通りとする。

(1) 「総合的な学習の時間」導入による教育課程の変更

- ① 平成11年度と平成12年度における授業時間数の推移
- ② 「総合的な学習の時間」に単位の読み替えがなされた単元の平成11年度のねらいと平成12年度における「総合的な学習の時間」のねらいの比較
- ③ 平成11年度と平成12年度における単元の推移

(2) 「総合的な学習の時間」の推移

- ① 平成12年度から平成17年度における「総合的な学習の時間」の授業時間数の推移
- ② 平成12年度から平成17年度における「総合的な学習の時間」のねらいの推移
- ③ 平成12年度から平成17年度における単元の推移

沖縄県における年間指導計画書にみる「総合的な学習の時間」の分析

図2より、平成11年度から12年度にかけて、作業学習から70時間の授業数の減少がみられる。

I. 中学部における「総合的な学習の時間」の分析

1. 中学部における「総合的な学習の時間」の導入による教育課程の変更

(1) 平成11(1999)年度と12(2000)年度における授業時間数の推移

沖縄県の知的障害養護学校中学部における「総合的な学習の時間」は平成12年から実施された。従って、平成11年度までの教科、領域、教科・領域を合わせた指導において、いずれかの授業時間数が削減され、「総合的な学習の時間」の授業時間に割り当てられることとなった。その分析を学校毎に行った結果が図1～7である。

以下に図と伴に、平成11年度から削減された時間数とその教科、領域、教科・領域を合わせた指導の説明を記す。

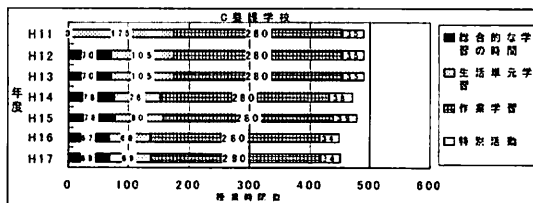


図3：C養護学校

図3より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から70時間の授業数の減少がみられる。

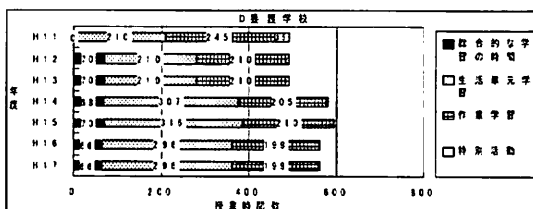


図4：D養護学校

図4より、平成11年度から12年度にかけて、作業学習から35時間、特別活動から35時間の授業数の減少がみられる。

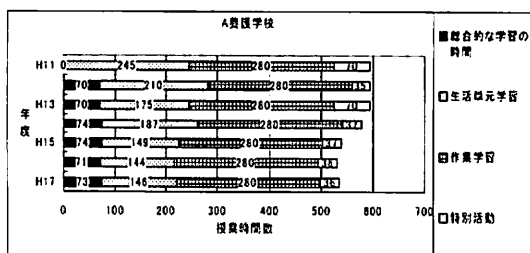


図1：A養護学校

図1より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から35時間、特別活動から35時間の授業数の減少がみられる。

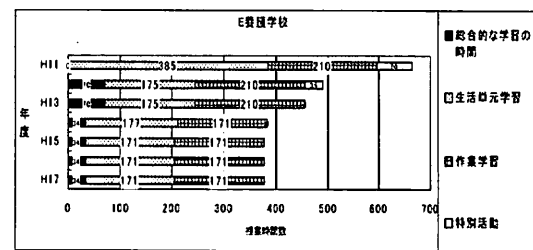


図5：E養護学校

図5より、平成11年度から12年度にかけて、生活単元学習から210時間、特別活動から35時間、授業数の減少がみられる。生活単元学習の210時間の内、175時間は日常生活の指導の時間に当てられた。従って、差し引いた35時間と、特別活動の減少時間数35時間の合計70時間が「総合的な学習の時間」として割り当てられたことが考えられる。

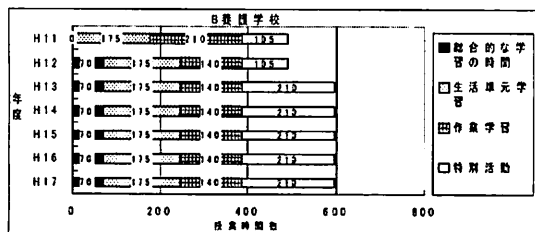


図2：B養護学校

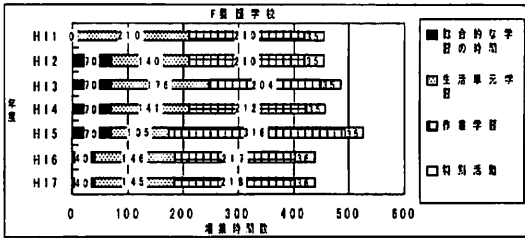


図6：F養護学校

図6より、平成11年度から12年度にかけて、生活単元学習から70時間の授業数の減少がみられる。

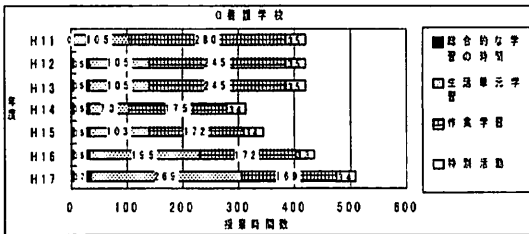


図7：G養護学校

図7より、平成11年度から12年度にかけて、作業学習から35時間の授業数の減少がみられる。

- (2) 「総合的な学習の時間」に単位の読み替えがなされた単元の平成11年度のねらいと平成12年度における「総合的な学習の時間」のねらいの比較

第1節の(1)で、生活単元学習・作業学習・特別活動のいずれかの授業時間数が「総合的な学習の時間」に移項されたことが分かった。ここでは、以上に挙げた3つと「総合的な学習の時間」のねらいの比較を行い、共通点を見出した。このことから、「総合的な学習の時間」がどのように捉えられてきたかを推測することができる。また、具体的なねらいの推移を表1に示す。

- ① 生活単元学習と「総合的な学習の時間」との比較

以下に、生活単元学習が「総合的な学習の時間」として読み替えがなされた理由のひとつとして考えられる、双方のねらいにおける共通部分を挙げる。
※A・E養護学校は年間指導計画書に生活単元学習のねらいが記載されていないため、C・F養護学校との比較を行う。

C養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいの一つに、「『させられる子』ではなく、『やる子』を育てる」とあり、また平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいには「自ら学び、考える力の育成を図る」とある。これらは、生徒の主体性を培うことを重視することにおいて共通している。

F養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいの一つに、「社会、文化に触れる機会をできるだけ多く持ち」とあり、また平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」においては、「社会体験」や「自然体験」が内容の例として示されている。これらは、地域と交流を図ることを重視することにおいて、共通している。

- ② 作業学習と「総合的な学習の時間」との比較
(D養護学校)

以下に、作業学習が「総合的な学習の時間」として読み替えがなされた理由のひとつとして考えられる、双方のねらいにおける共通部分を挙げる。

D養護学校

平成11年度の作業学習のねらいの一つに「草花や野菜の栽培を通して、働くことの喜びをしり」とあり、環境美化を重視していることが考えられる。一方、平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容の例示に「環境」が示されており、共通点が見られる。具体的には、平成13年度の「総合的な学習の時間」のねらいに「豊かな体験の場（環境教育等）を設定し、主体的、想像的に取り組む態度を養う」として、ねらいが反映された。

- ③ 特別活動と「総合的な学習の時間」との比較
(D・E養護学校)

以下に、特別活動が「総合的な学習の時間」として読み替えがなされた理由のひとつとして考えられる、双方のねらいにおける共通部分を挙げる。

D 養護学校

平成11年度の特別活動のねらいの一つに「日常生活をより自発的・発展的に行うための生活態度を育てる」とあり、平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいには「自ら学び、考える力の育成を図る」とあり、生徒の主体性を培うという点において共通している。

E 養護学校

平成11年度の特別活動のねらいで「自発的活動を促進し」とあり、平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいには「自ら学び、考える力の育成を図る」とある。このことから、生徒の主体性を培うという点において共通している。

(3) 平成11年度と平成12年度における単元の推移
7つの学校において平成12年度に設定された「総合的な学習の時間」の単元は、平成11年度の生活単元学習・作業学習の内容から一部引き継がれた。また、平成11年度とは全て異なる単元を設定した学校もあった。

具体的な単元の推移は表2に示し、以下に説明を記す。

A 養護学校

平成11年度の作業学習から「野菜の植え付け」・「学級園の手入れ」・「畑・周辺の整備」等の単元が「環境美化の活動」として「総合的な学習の時間」に引き継がれた。

B 養護学校

平成11年度の作業学習の全体作業（園芸班、木工班、調理班、美術班、土作り班、被服班）の内容をいくつか変更し（調理班→家庭 被服班→手工芸）、「交流会」を付け加え、「総合的な学習の時間」とした。

C 養護学校

平成11年度の生活単元学習から、「臨海学校」・「社会見学」・「交流学習」等、主に校外学習にあたる単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

D 養護学校

H11・12の資料なし

E 養護学校（H12の資料なし、H13年と比較）

平成11年度の生活単元学習から、「宿泊学習に向けて」・「交流会」・「社会見学に向けて」・「クリスマス会」といった単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

F 養護学校

平成11年度の生活単元学習と共通した単元はなく、「中庭の清掃」「学内清掃」「花の種まき」「花のポット植え」「親子草花作り」といった環境美化に関する活動が「総合的な学習の時間」として取り入れられた。

G 養護学校

平成11年度の生活単元学習から、地域の行事である「マリンアドベンチャー」が移行された。また「お年寄りといっしょに」「地域と触れ合おう」「郷土の行事を体験しよう」といった地域交流等が「総合的な学習の時間」として取り入れられた。

2. 中学部における「総合的な学習の時間」の推移

(1) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」の授業時間数の推移

1の(1)において、平成11年度と平成12年度の教科、領域、領域教科を合わせた指導の授業時間数を比較することで、「総合的な学習の時間」における授業時間数がどのように確保されたかを見ることができた。ここでは、それ以降の平成12年度から17年度までの、「総合的な学習の時間」における時間数の増減を見ることで各学校の傾向を探った。

それぞれの学校における具体的な授業時間数の推移は以下の通りである。

A～D 養護学校・・・平成12年度の70時間からほぼ変化なし。

E 養護学校・・・平成12・13年度は70時間、平成14年度以降は4時間と時間数の減少がみられた。

F 養護学校・・・平成12・13・14・15年度は70時間、

平成16年度以降は40時間と時間数の減少がみられた。

G養護学校・・・平成12年度の35時間からほぼ変化なし。

この傾向から、A、B、C、D、Gの5校において、導入時期と授業数に変化がないことが分かる。しかし、E、F養護学校においては授業時間数に減少がみられた。この減少理由の一つとして、導入前の生活単元学習の時間に再度移行されたこと等が挙げられる。従って、「総合的な学習の時間」の内容がまだ定着していないことが推測される。

(2) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」のねらいの推移（表1参照）

ねらいの推移については、それぞれの学校ともに平成12年度に設定したものから内容に多少の変化がみられるものの、平成14、15年から定着する傾向を示していった。A～G養護学校の7校ともに、ねらいは学習指導要領に沿ったものが多かった。

例えば、C養護学校のねらいは「自分自身を含めた、周りの自然環境及び社会の仕組みに興味・関心を持ち、自ら課題を見つけ、学び方やものの考え方を身につけ主体的に取り組む態度を養う」とあり、これは学習指導要領のねらいの(1)(2)の内容を反映したものと考えられる。また、E養護学校は「自然環境」、G養護学校は「地域の文化や自然」をねらいに盛り込んでいたが、これは学習指導要領にある「環境」「地域や学校の特色に応じた課題」に基づき、それぞれの学校の地域性を「総合的な学習の時間」として取り込んだものと思われる。

この中でも特に、B養護学校は平成13年度から、学習指導要領に沿いつつも独自のねらいを設けており、その内容は「総合的な学習の時間」に「遊び」を取り込んでいた。具体的には、「自ら好む遊びを選び、それを展開させることによって学校生活及び学習への積極性・自主性を育てる」とあり、生徒が好む遊びを授業に取り入れ、主体的に活動できる環境をつくることを重視していた。

(3) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」の単元の推移

7つの学校において平成12年度に設定された「総合的な学習の時間」は、単元の入れ替えが行われ、平成14・15年度にはそれぞれの学校で定着してきた。具体的には、以下の通りである。（表2参照）

A養護学校

平成14年度から、学校周辺における地域性を活かし、学習指導要領の『環境』・『ものづくり』の内容を中心に、4つの班を編成して定着した。

B養護学校

この学校は他の学校より内容の定着が早かった。また、学習内容に「遊び」が盛り込まれ、学校独自の「総合的な学習の時間」を展開した。また、その他にも他中学校との交流、映画鑑賞、パネルシアター等、校外へ出での活動や製作活動が盛り込まれた。

C養護学校

平成14年度から、学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『自然体験』『交流活動』『環境』を基に、学習内容が定着した。特に、「蝶の飼育」は他の学校には設定されておらず、「環境教育」を学校独自の観点で「総合的な学習の時間」に取り入れていた。

D養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流活動』『環境』を基に、「交流教育（来校・訪問）」「1人1鉢運動」等の学習内容が定着した。

特に、この学校の特色として「就業体験」が同じく平成15年度から設定された。中学部から就業体験を設定しているため、教師の生徒への将来に対する意識が高いことが考えられる。

E養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流活動』『社会体験』を基に、「交流会（地域交流・学校間交流・国際理解交流）」「工場見学」等の学習内容が定着した。

表1 沖縄県における各知的障害養護学校のねらいの推移（中学部）

年計より	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	
A養護学校	<p>作業学習（全体作業）</p> <p>○いろいろな作業を通して、みんなと協力して粘り強く働く態度を身につける。</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>○生徒の興味・関心に基づく体験的な活動を通して自ら学ぶ力を養う。</p> <p>○特定の行事の取り組みを通して、交流を体験し移動の力を身につける。</p> <p>○環境美化活動を粘り強く働く態度を身につける。</p>	<p>○生徒の興味・関心に基づく体験的な活動を通して自ら学ぶ力を養う。</p> <p>○勤労生産及び環境教育活動を通して、皆と協力し粘り強く働く態度を身につける。</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H14と同じ</p>	<p>○生徒個々の興味・関心に基づき体験的な活動を通して、自ら学ぶ力を養う。</p> <p>○班活動を通して、皆と協力し楽しく行動できる態度を身につける。</p>	<p>H15と同じ</p>	<p>H15と同じ</p>
B養護学校	<p>全体作業（園芸・木工・調理・美術・土作り・施設取組）</p> <p>○作業などを通して、将来の職業生活及び社会生活に必要な協調性、責任感、集中力などを見付けさせる。</p>	<p>総合的な学習の時間（木工・手工芸・美術・土作り・家庭・芸術・交流会）</p> <p>○将来、社会生活に必要な知識や技能を体験学習や必要な指導を通して身につけさせる。</p>	<p>○年間を通し、本時を「みんなの時間」として各づけ、生徒が主体的に学習できる素地を養うため、生徒が好む「遊び」を主な学習方針として、下記目標を定める。</p> <p>①自ら好む遊びを選び、それを展開させることにより、学校生活及び学習への積極性・自主性を育てる。</p> <p>②集団活動・作業を通じて生徒同士の友情等、人間関係の育成を図り、社会性を育てる。</p>	<p>○年間を通し、本時を「みんなの時間」として各づけ、生徒が主体的に学習できる素地を養う。主な主題は生徒が好む「あそび」とし、下記目標を定める。</p> <p>①自ら好む課題を選択し、それを展開させることにより、学校生活及び学習への積極性・自主性を育てる。</p> <p>②集団活動・作業を通じて生徒同士の友情等、人間関係の育成を図り、社会性を育てる。</p>	<p>H14と同じ</p>	<p>H14と同じ</p>	<p>H14と同じ</p>	
C養護学校	<p>生活単元学習（中1）</p> <p>○生徒個々の課題解決</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>○「生きる力」を育てる。</p>	<p>○自分自身を含めた、周りの自然環境及び</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>(中1・2年) ○自分自身を含めた、</p>	<p>(中1) ○身の周りの環境及び</p>	

C養護 学 校	<p>をさせせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活に必要な習慣を身につける。 ○ 「させられる子」ではなく「やる子」を育てる。 ○ 生徒個々に成就感を味合わせる。 	<p>むことを目指し、自ら学び、考える力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にわたって生徒が地域の中で活動でききる素地を養う。 	<p>社会の仕組みに興味・関心を持ち、自ら課題を見付け、学び方や物の見方を身につけ主体的に取り組む態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心に基づき課題や、地域や学校に合った学校の特色に基づいた課題や活動を学習課題や活動を設定し指導を開する。 	HI3と同じ	HI3と同じ	<p>周りの自然環境及び社会の仕組みに興味・関心を持ち、自ら課題を見付け、学び方や物の見方を身につけ主体的に取り組む態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心に基づき課題や、地域や学校に合った学校の特色に基づいた課題や活動を学習課題や活動を設定し指導を開する。(3年) ○ 地域の生活環境に興味関心を持ち、主体的に生活課題を解決していく態度を養う。 ○ 各授業と連携し、学校や地域の生活環境の特色に応じた課題を通して、主体的に問題解決する力を養う。 	<p>社会の仕組みに興味を持ち、自ら課題を見付け、主体的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団の中で友達と関わり、協力して学習を進め、創意工夫をして作り上げた育てたりする。 ○ 自分の思いや願いを、学習を押し進めて実現しようとする。 (中2) ○ 自分の周りの生活環境や自然環境及び社会の仕組みに興味関心を持ち、問題や課題に取り付き、主体的に取り組む態度を養う。 (中3) ○ 自分自身を含めた、周りの自然環境及び仕組み等に興味・関心を持ち、自ら課題を見付け、学び方やもの考え方、学的に主体的に取り組む態度を養う。 ○ 生徒の興味・関心に基づき課題や、地域や学校に合った学校の特色に基づいた課題や活動を学習課題や活動を設定し指導を開する。 	HI3と同じ
D養護 学 校	<p>特別活動(中1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身辺生活の処理に関わる技能を高める。 ○ 日常生活をより自主的・発展的に行うた 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心や発達段階に基づき、豊かな体験の場(就業体験・交流教育・環境教育等)を設定 	HI3と同じ	HI3と同じ	HI3と同じ	HI3と同じ	

<p>D養護 学 校</p>	<p>めの生活態度を育てる。(パソコン)作業学習(園芸班) ○いろいろな作業を体験させて、諸作業の基礎的な知識と技能を身につける。 ○働く意味、体力、協力心、忍耐力を養い、働く力、生活する力を高める。 ○草花や野菜の栽培を通して、働くことの喜びを知り、進んで仕事に参加することができる。</p>		<p>し、主体的、創造的の取り組み態度を養う。</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>
<p>E養護 学 校</p>	<p>生活単元学習、年計にねらいの記入なし特別活動 ○自発的活動を促進し、できるだけ生徒の力でよりよい活動ができるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 ・資料なし</p>	<p>○自分自身を含めた、まわりの自然環境及び社会の仕組み等に興味・関心を持ち、自ら課題を見方を学び方や物の見方自身につけて、主体的に取り組む態度を養う。 ○生徒の興味・関心に基づく課題や、地域や学校の特徴の応じた課題等について学習課題や活動を設定し指導を展開する。</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>
<p>F養護 学 校</p>	<p>生活単元学習 ○地教科、領域、合わせた指導と連携し、自力で生活課題を解決して行く意欲や力を育てる。 ○本物の社会、文化にだけ多く持た、現在及び将来の社会生活を送るうえで必要な知識や技能を身に付</p>	<p>総合的な学習の時間 ○環境美化活動を通して、身近な環境に対して、身向け環境に対する意欲を高める。 ○地域の人々との交流を図り生活体験を豊かにする。 ○集団での活動を通して、協調性や仲間意識を育てる。</p>	<p>○教科別、領域別の指導、領域教科を合わせた指導と連携し、自力で生活課題を解決していく意欲や力を育てる ○地域の具体的な環境に、触れる機会を通して、実社会への関心を深め、必要な知識や技能を身につける。</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>H13と同じ</p>	<p>○長期目標・地域の具体的な環境に、触れる機会を通して、実社会への関心を深め、社会生活を送る上で、必要な知識や技能を身につける。 ○問題解決する活動を通して、地域の人々や生徒、同士のコミュニケーション関係を充実さ</p>	<p>○各教科、道徳及び特別活動で身につけた知識や技能を相互に連携付け、学校・地域行事・学校間交流等の体系的な学習の機会を通して、身のまわりの事象に興味・関心を深め、自ら考え、活動する態度を育てる。</p>

<p>G養護 学 校</p>	<p>けさせ。協力し て問題解決する活動 や話し合い活動 を通して生徒どう しコミュニケーション をとりあひあう集 団を作る。</p>	<p>総合的な学習の時間 ○地域や学校の実態、 又は、生徒の状態や 発達段階に応じた地 域の計画的な活用を 通じて領域・教科を 合わせた指導との関 連を図りながら、自 ら学び、自ら考え主 体的に判断できる力 を育てる。</p>	<p>○問題解決する活動 や話し合い活動の 人々や生徒同士の コミュニケーション を促進し、力を 育てる。</p>	<p>年計になし</p>	<p>○生徒の実態に応じて、「 「福祉・健康」に関 する学習に注目し、 地域の人々との交流 や野外学習(フィー ルドワーク)を通し て生徒たちが興味と 関心を高める事を指 導の目標とする。ま た、学習活動におい ては、「係り」や「学 習課題」を責任持っ て取り組む中で、生 徒個々の道徳性の向 上を図る事も学習目 標とする。</p>	<p>○生徒の実態に応じて 興味関心を高めるよ うな題材を設定し、 自ら進んで取り組む ようにする。 ○身近な自然や文化に 関心を持つ。 ○近隣の同世代の中学 生や地域の方々との ふれあいを通じて、 よりよい人間関係を 築く。</p>	<p>H16と同じ</p>	<p>せ協同していく力を 育てる。</p>
--------------------	---	---	---	--------------	--	---	---------------	---------------------------

表2 沖縄県における各知的障害養護学校の「総合的な学習の時間」の単元の推移（中学部）

年計より	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	
A養護学校	<p>作業学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室の整理 ○卒業の植え付け ○学級懇話会の準備 ○畑、周辺の整備 ○学級園の手入れ ○みんなの植え付け ○校内及び現場実習 ○ジャガイモの植え付け ○畑の耕起 ○野菜の植え付け ○ジャガイモの収穫 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会の活動 ○移動の力 ○環境美化の活動 ○興味ある活動 ○交流の活動 ○体験学習 ○生徒会の活動 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美化班 ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○木を大切にしよう ○もの作り班 ○材料を見付けよう ○向かを作ろう ○自然観察班 ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○それいけ班 ○足ってみよう ○触ってみよう ○全体活動 ○環境美化の日 ○ジャガイモの栽培 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○花咲く兄さん ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○取組しよう ○マスタター ○深しにいこう ○カメックス ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○にっここ班 ○目ってみよう ○触ってみよう ○やってみよう 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体活動 ○「やりたいものは何ですか？」 ○花咲けよう ○発表しよう ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○取組しよう ○作ってみよう ○観察しよう ○マスタター ○深しにいこう ○作ってみよう ○スーパーカメックス ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○へむむ班 ○見ってみよう ○触ってみよう ○やってみよう 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体活動 ○「やりたいものは何ですか？」 ○花咲けよう ○発表しよう ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○取組しよう ○作ってみよう ○観察しよう ○マスタター ○深しにいこう ○作ってみよう ○スーパーカメックス ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○へむむ班 ○見ってみよう ○触ってみよう ○やってみよう 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体活動 ○「やりたいものは何ですか？」 ○花咲けよう ○発表しよう ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○取組しよう ○作ってみよう ○観察しよう ○マスタター ○深しにいこう ○作ってみよう ○スーパーカメックス ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○へむむ班 ○見ってみよう ○触ってみよう ○やってみよう 	<p>◎班活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体活動 ○「やりたいものは何ですか？」 ○花咲けよう ○発表しよう ○「きれいな学校」とは ○花を咲かせよう ○取組しよう ○作ってみよう ○観察しよう ○マスタター ○深しにいこう ○作ってみよう ○スーパーカメックス ○探してみよう ○調べてみよう ○飼ってみよう ○へむむ班 ○見ってみよう ○触ってみよう ○やってみよう
B養護学校	<p>全体作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園芸班 ○木工班 ○調理班 ○美術班 ○工作班 ○織履班 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○I班(木工芸) ○II班(手工芸) ○III班(美術) ○IV班(土作り) ○V班(家庭) ○VI班(園芸) ○交流会 	<p>◎好きな遊びを選んで遊ぼう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育的遊び(ボールゲーム) 2. 美術的遊び(絵画/工作等) 3. 音楽的遊び(ダンス/カラオケ等) 4. 映画を見よう 5. 校外へ出よう 6. 中卒部ウォークラリー 7. 写真展 8. お祭りしよう 9. クリス마스バネルシ 10. アタタ 11. 中卒文化祭、学習発表会に向けて 12. 1年間の反省とアンケート 	<p>◎好きな遊びを選んで遊ぼう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育的遊び(ボールゲーム) 2. 美術的遊び(絵画/工作等) 3. 音楽的遊び(ダンス/カラオケ等) 4. 趣味に類する遊び(ウォークラリー) 5. 映画を見よう 6. 校外へ出よう 7. 中卒部ウォークラリー 8. 映画を見よう 9. 美重中との交流会 10. 作って遊ぼう 11. 中卒部祭り 12. 段ボールを使ってアタタ 13. クリス마스バネルシ 14. 学習発表会に向けて 15. 卒業修了作品製作 	<p>◎みんなの時間を楽しもう(オリエンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォークラリーをしよう ○3人/9人グループで買い物をしよう ○水遊びをしよう(プール遊び) ○映画を見よう ○交流会 ○作って楽しもう ①遊ぶもの(遊具、おもちゃ、ゲーム等) ②学校に役に立つものを作る(共同製作) ③学習発表会に向けて ④1年を振り返ろう 	<p>◎みんなの時間を楽しもう(オリエンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォークラリーをしよう ○3人/9人グループで買い物をしよう ○水遊びをしよう(プール遊び) ○映画を見よう ○交流会 ○作って楽しもう ①遊ぶもの(遊具、おもちゃ、ゲーム等) ②学校に役に立つものを作る(共同製作) ③学習発表会に向けて ④1年を振り返ろう 	<p>◎みんなの時間を楽しもう(オリエンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォークラリーをしよう ○3人/9人グループで買い物をしよう ○水遊びをしよう(プール遊び) ○映画を見よう ○交流会 ○作って楽しもう ①遊ぶもの(遊具、おもちゃ、ゲーム等) ②学校に役に立つものを作る(共同製作) ③学習発表会に向けて ④1年を振り返ろう 	<p>◎みんなの時間を楽しもう(オリエンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォークラリーをしよう ○3人/9人グループで買い物をしよう ○水遊びをしよう(プール遊び) ○映画を見よう ○交流会 ○作って楽しもう ①遊ぶもの(遊具、おもちゃ、ゲーム等) ②学校に役に立つものを作る(共同製作) ③学習発表会に向けて ④1年を振り返ろう

卒業生における目的意識・進路意識の「総合的な学習の時間」の検討

<p>C 養護学校</p>	<p>生活単元学習 ○新しい学級 ○春の遠足 ○探検しよう ○私の家族 ○唐の概生月間に向けて ○林間学校 ○お楽しみ会 ○さあ二学期だ ○運動会 ○本に親しむ ○料理を作ろう ○交流学習 ○社会見学 ○バーティナーに参加しよう ○冬休みに向けて ○新しい年 ○夏汗祭 ○壁面づくり ○もうすぐ2年生</p>	<p>総合的な学習の時間 ○地域を探検しよう ○植樹祭 ○社会見学 ○修学旅行 ○修学旅行報告会 ○交流学習 ○学習発表会</p>	<p>○地域を探検しよう ○身近な自然に親しもう ○青樹祭 ○林間学校 ○社会見学 ○修学旅行報告会 ○交流学習 ○夏汗祭</p>	<p>○「総合的な学習の時間」オリエンテーション ○自然体験学習をしよう ○臨海学校 ○青樹祭 ○校内 ○校外散策 ○好きな遊びを見つけよう ○交流教育 ○伊是名中との交流 ○学年間交流 ○地域教育 ○地域の飼育と観察 ○クリンアップ作戦 ○夏汗祭</p>	<p>○校内 ○校外散策 ○パソコンに親しもう ○社会見学 ○交流教育 ○学年間交流 ○進路 ○(将来の夢) ○(身近な人の仕事) ○(働く意義?) ○(働く意義②) ○環境教育(身近な自然に親しもう) ○青樹祭 ○蝶の飼育と観察 ○蝶の飼育と観察 ○レモニー ○蝶の観察報告会 ○夏汗祭</p>	<p>○校外散策 ○パソコンに親しもう ○社会見学(施設の見学) ○交流教育(ゲーム、自己紹介など) ○進路 ○身近な人の仕事(家族の仕事の発表) ○高等部の校内実習(校内実習見学) ○校内実習 ○環境教育 ○愛鳥週間 ○蝶の観察会 ○青樹祭 ○夏汗祭</p>	<p>○「総合的な学習の時間」オリエンテーション ○パソコンに慣れよう ○楽しく踊ろう ○「太陽の丘」の生物 ○蝶の観察と飼育 ○蝶の観察報告会 ○青樹祭 ○ペットボトル工作 ○地域の文化を知ろう ○交流学習に向けて遊びを作ろう ○夏汗祭りに向けて ○係分担、諸準備 ○夏汗祭り ○総合的な学習の時間反省会</p>
<p>D 養護学校</p>	<p>生活単元学習資料なし</p>	<p>総合的な学習の時間 ・資料なし</p>	<p>(全体) ○体育的交流(中学校とのスポーツ大会) ○音楽交流(養護学校との交流) ○レクリエーション交流(中学校とのレクレーション交流) ○就業体験 ○一人一針運動各学年で異なる</p>	<p>○交流教育(訪問) ○沖繩の民話に触れよう ○百学校との交流 ○交流教育(ビデオ制作) ○学年反省会 ○中学校との交流教育 ○就業体験 ○一人一針運動</p>	<p>○中学校との交流教育(来校・訪問) ○百学校との交流 ○就業体験 ○環境教育 ・一人一針運動</p>	<p>○交流教育(中学校、来校・訪問) ○就業体験</p>	<p>○交流教育(中訪問・来校) ○英語学習 ○就業体験</p>
<p>E 養護学校</p>	<p>生活単元学習 ○中学生になって ○春の遠足 ○母の日に向けて ○交通安全指導 ○プール清掃 ○ハガキを送ろう「どうぞよろしく」</p>	<p>総合的な学習の時間 ・資料なし</p>	<p>○総合的なオリエンテーション ○宿泊学習(事前事後学習) ○蝶の飼育・観察 ○買い物学習、お楽しみ会 ○校内美化</p>	<p>○交流教育(訪問) ○沖繩の民話に触れよう ○百学校との交流 ○交流教育(ビデオ制作) ○学年反省会 ○中学校との交流教育 ○就業体験 ○一人一針運動</p>	<p>○中学校との交流教育(来校・訪問) ○百学校との交流 ○就業体験 ○環境教育 ・一人一針運動</p>	<p>○交流教育(中学校、来校・訪問) ○就業体験</p>	<p>○交流教育(中訪問・来校) ○英語学習 ○就業体験</p>

<p>E 養護学校</p>	<p>○父の日に向けて ○春鴻ハーレー ○宿泊学習に向けて ○誕生会 ○夏休みに向けて ○敬老の日（ハガキを出そう） ○交流の輪を広げよう（2丁目老人クラブ） ○運動会 ○現場実習に向けて ○交流会（中学校） ○鑑賞会 ○社会見学に向けて ○クリスマス会 ○誕生会 ○年賀状を送ろう（～2丁目老人クラブ） ○冬休みに向けて ○学習発表会に向けて ○誕生会 ○お別れ会食 ○もうすぐ2年生</p>	<p>○クリーンアップ作戦 ○国際理解 ○かりゆし交流会 ○蝶の飼育・観察記録報告会（環境教育モデル校） ○校内就業体験（事前学習） ○すまよう交流会（スポーツ交流） ○社会見学（事前学習） ○買い物学習、お楽しみ会（クリスマス会） ○校内美化 ○中学校訪問（学校間交流） ○蝶の飼育・観察 ○野鳥観察会（事前学習） ○買い物学習、お楽しみ会 ○取り組みのまとめ ○3年生を送る会</p>	<p>○すまよう交流（スポーツ交流） ○世界の国と手を繋ごう（国際理解交流会） ○野鳥観察会</p>	<p>○総合学習オリエンテーション ○かりゆし交流会（地域交流） ○中学校との交流会（学校間交流） ○世界の国と手を繋ごう（国際理解交流会）</p>	<p>○かりゆし交流会（地域交流） ○中学校との交流会（学校間交流） ○世界の国と手を繋ごう（国際理解交流会）</p>	<p>○国際交流会 ○まとめ</p>
<p>F 養護学校</p>	<p>生活单元学習 ○校内ウォークラリー ○海について ○宿泊学習 ○お楽しみ会 ○夏休みの思い出 ○運動会取り組み ○郵便局学習 ○ウォークラリー ○お話し大会 ○お楽しみ会の向けて ○買い物ウォーク ○ケンピング ○アルパム整理 ○年賀状投函 ○新年会に向けて ○体験学習 ○中文連 ○卒業、修了に向けて ○お別れ会</p>	<p>総合的な学習の時間 ○運動場の清掃 ○トライアスロン大会に向けての美化 ○学部対応 ○各分相区の清掃、花壇の清掃 ○交流 ○中庭の清掃、花壇の手入れ ○野田の森散策 ○1学期の清掃 ○分相区の清掃 ○夏祭りに向けて美化活動準備 ○学部対応 ○運動場の清掃 ○フルーツアイランドのハバパイヤ、バナナの根付け ○交流</p>	<p>○海神祭り ○体験学習、交通指導 ○中学校との交流 ○地区中文連</p>	<p>○体験学習 ○中学校との交流 ○地区中文連</p>	<p>○体験学習 ○精兵ハーリー ○中学部体験交流会 ○体験学習 ○学校壁画作成 ○地区中文連</p>	<p>1～3年 ○精兵ハーリー ○中学部体験交流会 ○体験学習</p>

沖縄県における知的障害施設学校の「総合的な学習の時間」の検討

F 養護学校		<ul style="list-style-type: none"> ○養体連 ○学部対応 ○年末消帰 ○花の種まき ○持久走に向けて周辺清掃 ○花のポット植え ○親子草花作り ○学末消帰 ○卒業式帰郷營 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新入生歓迎会 ○体力を知ろう ○マリリアドベンチャー ○地域と触れ合おう ○地域にポスターを貼ろう ○スポーツで遊ぼう ○お年寄りと一緒に ○職場で働こう ○体育大会で頑張ろう ○お楽しみ会をしよう ○新年を祝う ○地域にポスターを貼ろう ○郷土の行事を体験しよう ○育てた作物を取換しよう ○卒業生を祝福しよう ○今年度を振り返って 	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生歓迎会 ○マリリアドベンチャー ○運動会のポスター ○平和について ○マルチメディアを体験しよう ○地域交流 ○修学旅行に向けて ○伝統文化を学ぶ ○養体連 ○お楽しみ会 ○新年を迎えよう ○学習発表会に向けて ○進路学習 ○全体会食会 ○3年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生歓迎会 ○春の遠足 ○マリリアドベンチャー ○平和学習 ○宿泊学習に向けて ○宿泊学習 ○運動会のポスターを貼りに行こう ○運動会に向けて ○社会見学 ○社会見学を終えて ○遊藝発表会に向けて ○運動会に向けて ○伝統文化 ○餅つき集会 ○養護祭に向けて ○校内駅伝大会 ○収穫祭、一日体験学習 ○お別れ同会食 ○卒業生を送る会の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○私の島 ○マリリアドベンチャー ○島の芸能 ○餅つき集会 ○島の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学習 ○マリリアドベンチャー ○平和学習 ○島の食文化 ○餅つき会
G 養護学校		<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい学級と友達 ○春の遠足の事後 ○こいのぼり作り ○母の日 ○マリリアドベンチャー ○誕生会 ○アール開き ○父の日 ○ハーリー ○宿泊学習事前学習 ○誕生会 ○一学期の反省 ○夏休みの反省 ○敬老の日について ○運動会について ○運動会 ○誕生会 ○現場実習について ○養体連 ○産業祭り見学 ○クリスマス準備 ○買い物学習 ○二月期の反省 ○新しい年 ○養護祭に向けて ○養護祭 ○駅伝大会 ○誕生会 ○1年間の反省とアルパムの整理 	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生歓迎会 ○マリリアドベンチャー ○平和について ○マルチメディアを体験しよう ○地域交流 ○修学旅行に向けて ○伝統文化を学ぶ ○養体連 ○お楽しみ会 ○新年を迎えよう ○学習発表会に向けて ○進路学習 ○全体会食会 ○3年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生歓迎会 ○マリリアドベンチャー ○春の遠足 ○マリリアドベンチャー ○平和学習 ○宿泊学習に向けて ○宿泊学習 ○運動会のポスターを貼りに行こう ○運動会に向けて ○社会見学 ○社会見学を終えて ○遊藝発表会に向けて ○運動会に向けて ○伝統文化 ○餅つき集会 ○養護祭に向けて ○校内駅伝大会 ○収穫祭、一日体験学習 ○お別れ同会食 ○卒業生を送る会の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○私の島 ○マリリアドベンチャー ○島の芸能 ○餅つき集会 ○島の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学習 ○マリリアドベンチャー ○平和学習 ○島の食文化 ○餅つき会 	

F 養護学校

平成14年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流活動』『社会体験』を基に、「お祭り」「ハーリー」等の学習内容が定着した。

G 養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流活動』『地域の特色に応じた課題』を基に、「交流」「地域の食文化」等の学習内容が定着した。

II. 高等部における「総合的な学習の時間」の分析

1. 「総合的な学習の時間」の導入による教育課程の変更

(1) 平成11年度と12年度における授業時間数の推移

沖縄県の知的障害養護学校高等部における「総合的な学習の時間」は平成12年から実施された。このことから、平成11年度までの教科、領域、教科・領域を合わせた指導において、いずれかの授業時間数が削減され、「総合的な学習の時間」の授業時間に割り当てられることとなった。その分析を学校毎に行った結果が図8～15である。

以下に図と伴に、平成11年度から削減された時間数とその教科、領域、教科・領域を合わせた指導の説明を記す。

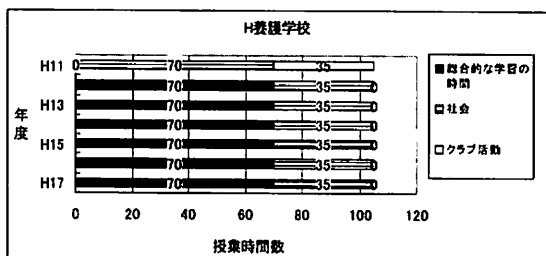


図8：H養護学校

図8より、平成11年度から12年度にかけて社会から35時間、クラブ活動から35時間の授業数の減少がみられる。

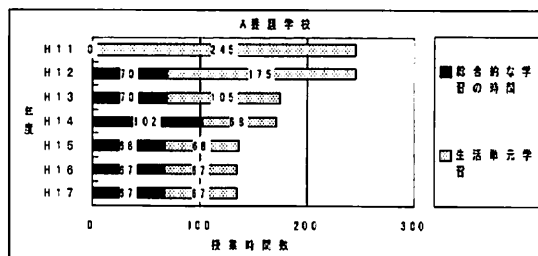


図9：A養護学校

図9より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から70時間の授業数の減少がみられる。

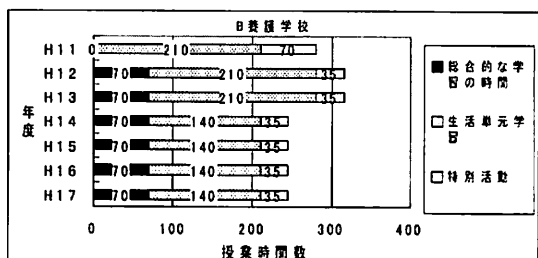


図10：B養護学校

図10より、平成11年度から12年度にかけて特別活動から35時間の授業数の減少がみられる。

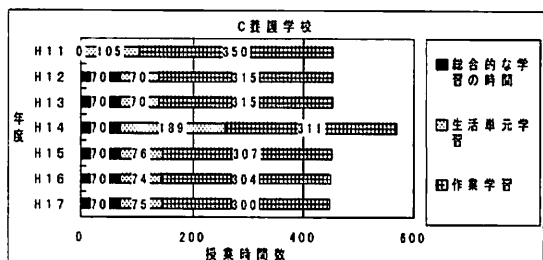


図11：C養護学校

図11より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から35時間、作業学習から35時間の授業数の減少がみられる。

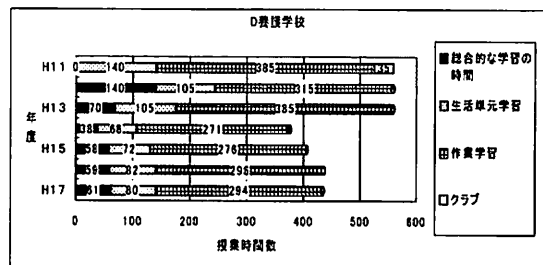


図12：D養護学校

図12より、平成11年度から12年度にかけて生活

単元学習から35時間、クラブ活動から35時間の授業数の減少がみられる。従って、この減少授業数分が「総合的な学習の時間」として割り当てられたことが考えられる。

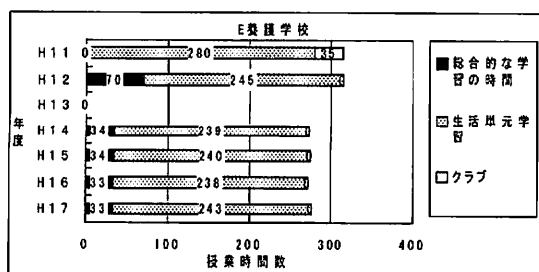


図13: E養護学校

図13より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から35時間、クラブ活動から35時間の授業数の減少がみられる。

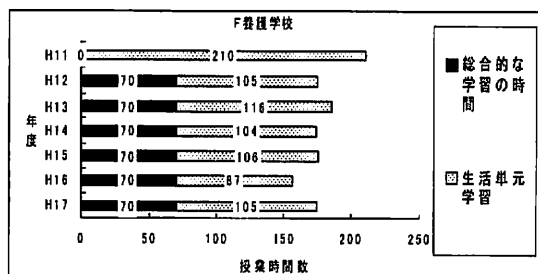


図14: F養護学校

図14より、平成11年度から12年度にかけて生活単元学習から105時間の授業数の減少がみられる。この時間の内、年間指導計画から35時間はホームルームの時間に設定されたことがわかり、残りの70時間は「総合的な学習の時間」に割り当てられたことが考えられる。

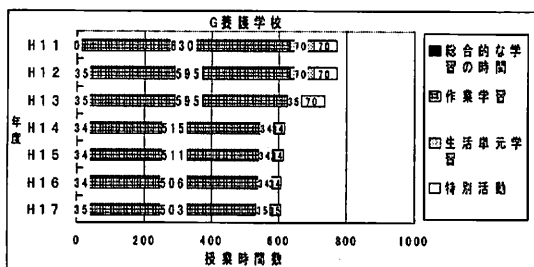


図15: G養護学校

図15より、平成11年度から12年度にかけて作業学習から35時間の授業数の減少がみられる。

(2) 「総合的な学習の時間」に単位の読み替えがなされた単元の平成11年度のねらいと平成12年度における「総合的な学習の時間」のねらいの比較

第2節(1)において、社会・クラブ活動・特別活動・生活単元学習・作業学習のいずれかの授業時間数が「総合的な学習の時間」に移項されたことが分かった。ここでは、以上に挙げた5つと「総合的な学習の時間」のねらいの比較を行い、共通点を見出した。このことから、「総合的な学習の時間」がどのように捉えられてきたかを推測することができる。特別活動とクラブ活動は、内容の読み替えがみられないため、ここでは生活単元学習をとりあげた。

また、具体的なねらいの推移を表3に示す。

① 社会との「総合的な学習の時間」との比較 (H学校)

H学校の年間指導計画に社会科のねらいが記されていないため、比較できない。

② 生活単元学習と「総合的な学習の時間」との比較 (A・B・C・D・E・F・G養護学校)

以下に、生活単元学習が「総合的な学習の時間」として取り入れられた理由のひとつとして考えられる、双方のねらいにおける共通部分を挙げる。

A養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいに「自立するために必要な事柄を実際的、総合的にさせる」とあり、平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいには「自己の生き方を考えることができる」とある。これらは、生徒の自立を図ることを重視したことにおいて共通点がみられる。

B養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいに「一人一人の生徒が力を発揮し、伸ばすとともに」とあり、平成11年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいに「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育てる」とある。これらは、今ある生徒の資質・能力を伸ばすことを重視することにおいて共通点がみられる。

表3 沖縄県における各知的障害養護学校のねらいの推移 (高等部)

年計より	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)
H養護学校	社会明記なし	総合的な学習の時間 ○生徒自ら興味関心を 持ち、考える力を育 てる。 ○主体的に取り組む活 動を通して、社会自 立・職業自立への基 礎を養う。	H12と同じ	テーマ：進路ひとり立 ちするために (H12と 同じ)	テーマ：進路ひとり立 ちするために (H12と 同じ)	テーマ：進路ひとり立 ちするために (H12と 同じ)	テーマ：進路ひとり立 ちするために (H12と 同じ)
A養護学校	生活単元学習 ○自立するために必要 は事柄を実際の、総 合的にさせる。 ○諸活動を通して生活 経験を拡大させ、生 活上の望ましい習慣 や態度の形成を図る。 ○自分と共々、働く ことを学ぶ。	総合的な学習の時間 ○自らの興味・関心 に基づき、自ら学び、 考え、自分の意思で 判断し、よりよく問 題を解決する力を育 てる。 ○学び方やものの考え 方を身につけ、問題 を解決したり、自ら 積極的に取り組む態 度を育て、自分の生 き方について考える ことになる。	H12と同じ	H12 と同じ	H12と同じ	H12と同じ	H12と同じ
B養護学校	生活単元学習 ○一人一人の生徒が力 を発揮し、伸ばすと ともに、集団生活全 体の中で取り組める ようにする。 ○学習を通して、生徒 が大きな満足感・成 就感が味わえるよう にする。	総合的な学習の時間 ○主体的、創造的に行 動する。 ○自ら課題を見つけ、主 体的に判断し、より よく問題を解決する 力を養う。 ○環境の美化や文化に 関心を持つ。	H12と同じ	H12と同じ	○主体的に考え、行動 し、よりよく問題解 決できる力を育てる。 ○自己を見つめ、自分 の生き方を考えるこ とができる力を育て る。 ○自己の健康に留意し、 体力を保持・改善し ていく力を育てる。	H12と同じ	H12と同じ
C養護学校	生活単元学習 ○生活に基づいた学習 活動を通して、生活 上の課題の処理や適切 な活動を体験的に学 ばせ、社会生活に適	総合的な学習の時間 ○生徒自らが興味・関 心を持ち、主体的に 取り組む活動を通 して、生きる力を育 む基礎的・基本的な 内容や、体験を通し	H12と同じ	H12と同じ	H12と同じ	H12と同じ	H12と同じ

沖縄県における知的障害養護学校の「総合的な学習の時間」の検討

C養護学校	<p>応じていくための能力と態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒にわたって生徒活動が、地域の中で活動できる素地を養う。 ○地域中の学校として、学校の特色を紹介し、理解・啓発に努める。 	<p>総合的な学習の時間資料なし</p>	<p>明記なし</p>	<p>○交流学習・就業体験・平和教育・一人一鉢運動・放送クラブ・卓球・運動・音楽クラブ・運動・キーキングクラブそれぞれにねらいを定める</p>	<p>○多様な活動を通して、豊富な実践技術を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○・人・自然・社会に関心を持って関わり、ふれあいを深め、自分のちからで課題を見つけ、解決する能力を養う。 	<p>総合的な学習の時間・資料なし</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教室内の作業を通して環境美化に対する意識を高め、勤労の習慣を身につける。 ○集団活動を通して、協働性や仲間意識を育てる。交流学習を通して、地域との理解を深める。 ○近隣の生き物、環境を知る。 	<p>応じていくための能力と態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活に関わる題材を通して、ことばや文字に興味関心を持たせる。 ○行事や季節に関連した絵カードを作成し、行事への興味、季節への関心を高める。 	<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行事や季節に関連した絵カードを作成し、行事への興味、季節への関心を高める。 	<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校行事や地域の伝統的行事に興味を持たせ、積極的に取り組む態度を養い日常生活にいかすようにする。 	<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行事単元、季節単元、課題単元を通して、自らの力で生活上の課題を処理する能力を身につけさせる。 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒活動や地域・社会との交流活動及び環境教育活動等の体験的学習の機会をとらえて、学び方やものの考え方を身につける。問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。 	<p>○交流学習・就業体験・平和教育・一人一鉢運動・放送クラブ・卓球・運動・音楽クラブ・運動・キーキングクラブそれぞれにねらいを定める</p>	<p>○多様な活動を通して、豊富な実践技術を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○・人・自然・社会に関心を持って関わり、ふれあいを深め、自分のちからで課題を見つけ、解決する能力を養う。 	<p>○生徒活動や地域・社会との交流活動及び環境教育活動等の体験的学習の機会をとらえて、学び方やものの考え方を身につける。問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。</p>	<p>○自らの課題に気づき、向上心を持って解決しようとする心や態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活体験や社会体験を通して、自分の身の周りのことに興味を持たせ、よりよく生きるための力を育てる。 	<p>○将来、自立し社会参加するための意欲を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路学習を通して、卒業後の生活について考え、自ら積極的に進路選択、決定できる力を養う。 ○平和学習、交流学習、産業教育を通して、コミュニケーションがスムーズにできるようにする。 	<p>○将来、自立し社会参加するための意欲を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路学習を通して、卒業後の生活について考え、自ら積極的に進路選択、決定できる力を養う。 ○平和学習、交流学習、産業教育を通して、コミュニケーションがスムーズにできるようにする。 	<p>HI15と同じ</p>	<p>HI15と同じ</p>	<p>HI15と同じ</p>	<p>HI15と同じ</p>
D養護学校	<p>総合的な学習の時間資料なし</p>	<p>明記なし</p>	<p>HI15と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>		
E養護学校	<p>総合的な学習の時間資料なし</p>	<p>明記なし</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>		
F養護学校	<p>総合的な学習の時間資料なし</p>	<p>明記なし</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>	<p>HI13と同じ</p>		

H12と同じ	
H12と同じ	
H12と同じ	
H12と同じ	
H12と同じ	
H12と同じ	
H12と同じ	
総合的な学習の時間 ○自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ○学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組み態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになる。	
生活単元学習 ○明記なし	
G養護学校	

C 養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいに、「生活上の課題処理や問題のための適切な活動を体験的に学ばせ」とあり、これは体験を通して、問題を解決する力を培うことに重点を置いていることが分かる。また、平成12年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容の例示に「社会体験」や「自然体験」等、「総合的な学習の時間」とあり、C 養護学校におけるねらいと学習指導要領の内容の例示に共通点が見られる。

D 養護学校

平成12年度の資料がないため比較できない。

E 養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいで、「学校行事や地域の伝統的行事に興味を持たせ」とあり、地域に興味・関心を持たせることを重視していることが分かる。また、平成12年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容の例示に「地域や学校の特色の応じた課題」とあり、E 養護学校のねらいと、学習指導要領の内容例示に共通点が見られる。

F 養護学校

平成11年度の生活単元学習のねらいで、「自らの力で生活上の課題を処理する能力を身につけさせる」とあり平成12年度の学習指導要領の「総合的な学習の時間」のねらいには「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育てる」とある。これらは、自分自身の力で問題解決を図ることを重視していることに共通点がみられる。

G 養護学校

平成11年度の生活単元学習にねらいの明記なし

- (3) 平成11年度と平成12年度における単元の推移
8つの学校において平成12年度に設定された「総合的な学習の時間」は、主に平成11年度の生活単元学習から引き継がれたものがほとんどであった。また、平成11年度とは全て異なる単元を設定した学校もあった。

表4 沖縄県における各知的障害養護学校の「総合的な学習の時間」の単元の推移 (高等部)

年計より	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	
H養護学校	<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域、沖縄県(沖縄の産業) 	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマの設定 ○沖縄の地理 ○沖縄の文化 ○沖縄の料理 ○沖縄の芸能 ○沖縄の歴史 ○日本本土と沖縄 ○沖縄と国際社会 ○現場実習を振り返って ○就業体験 ○進路について 	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域を知ろう ○サブテーマの設定 ○就業体験 ○スポーツレク ○先輩の卒業式を祝う ○ふるさとを見つめよう ○若者文化を見つめよう ○自分の未来を見つめよう ○現場実習を振り返って ○就業体験 ○校外学習 	<p>H14 (2002)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級作り ○オリエンテーション ○校外学習 ○自分のこと ○校外学習 ○働くこと ○進路講座 ○就業体験 ○産業界教育フェア一見学 ○進路を考える ○就職学習 ○調理実習 ○福祉について ○修学旅行 ○現場実習を振り返って ○進路講話 	<p>H14と同じ</p>	<p>H15 (2003)</p> <p>H14と同じ</p>	<p>H16 (2004)</p> <p>H14と同じ</p>	<p>H17 (2005)</p> <p>H14に</p> <ul style="list-style-type: none"> ○求職体験 ○企業訪問 ○相談するところを追加
A養護学校	<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生になって ○校外学習 ○進路について ○宿泊学習 ○区庁会 ○運動会に向けて ○生産物祭りに向けて ○学習発表会役員選挙 ○生徒会を送る会 ○3年生を送る会 	<p>単元のついでに明記なし</p>	<p>交流教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林間学校 ○運動会練習 ○修学旅行 ○美化活動 ○ボランティア活動 ○プール清掃 ○反省会 ○卒業式セレモニー 	<p>校内や学校周辺の美化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流教育 ○ゴミ問題を考えよう ○学習発表会について ○自分の好きなことを見つけてよう ○地域の施設と交流しよう ○卒業式について 	<p>校内や学校周辺の美化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流教育 ○ゴミ問題を考えよう ○学習発表会について ○自分の好きなことを見つけてよう ○環境整備活動 ○進路学習 ○林間学校 ○生産物祭り ○卒業式について 	<p>校内や学校周辺の美化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流教育 ○ゴミ問題を考えよう ○学習発表会について ○自分の好きなことを見つけてよう ○環境整備活動 ○進路学習 ○林間学校 ○生産物祭り ○卒業式について 	<p>臨海学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動会役員選挙 ○修学旅行について ○進路について ○地域の自然に親しもう(桜見学) ○自分の好きなことを見つけてよう ○卒業式について 	
B養護学校	<p>生活単元学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の会 ○カレンダー作り ○保活動 ○誕生会 ○新しい教室 ○母の日 ○学校周辺の探索 ○体について ○交流 ○父の日 ○樹霊の日 ○臨海学校 ○調理実習 ○社会見学 	<p>新入生歓迎会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流教育 ○交通安全 ○平和学習 ○風体みのり ○郷土芸能 ○環境美化 ○マスカクブレイ ○ボランティア ○学習発表会に向けて ○お別れ会 	<p>音楽班</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイタル班 ○遊び班 ○交流学習班 ○工作班 ○自然散策班 ○ダンス班 ○写真班 ○三味線班 	<p>学校探検</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春の遠足 ○スポーツ大会 ○30周年 ○樹霊の日 ○原爆の日 ○林間学校事前学習 ○林間学校事後学習 ○誕生会 ○夏休み ○情報 ○外国語 ○買い物学習 ○交流会 ○福祉施設 	<p>H15に</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生紙作りを追加 	<p>H15に</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の充実を知る ○食事のマナーを知ろう ○自然散策 ○校内外散策 ○教室環境作り ○現場実習に向けて ○工作・絵 ○体力作り ○誕生会・お楽しみ会 ○風船投げ大会 ○1年のまとめ ○夏休み ○交流会 ○作品展 ○読書月間 	<p>課題活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校探索 ○新しい教室 ○春の遠足 ○宿泊学習事前学習 ○宿泊学習事後学習 ○樹霊の日 ○誕生会 ○買い物学習 ○夏休み ○発表会 ○1年レク大会 ○母の日、父の日への取り組み 	

B 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ○校内実習 ○職場見学 ○買い物学習 ○ポーリング大会 ○学習発表会 ○歌伝大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポーリング大会 ○自然散策 ○工作・絵 ○ウォーキングでさわやかダイエット ○日常生活の充実を図る ○食事のマナーを知ろう ○簡単な料理を作ろう ○余暇の活用を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習に向けて ○買い物学習 ○宿泊学習 ○学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○野鳥について ○実習を頑張ろう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう ○進路学習(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習について ○修学旅行事前学習 ○夏休み作品展 ○体力作り
C 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生活単元学習 ○健康について ○春の遠足 ○交通安全 ○臨海学校 ○慰霊の日 ○交流教育 ○お楽しみ会 ○運動会 ○現場実習 ○社会見学 ○愛汗祭 ○生徒会役員選挙 	<ul style="list-style-type: none"> ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう ○運動会を頑張ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 ○平和学習 ○交流教育 ○産業教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習に向けて ○買い物学習 ○宿泊学習 ○学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○野鳥について ○実習を頑張ろう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう ○進路学習(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習について ○修学旅行事前学習 ○夏休み作品展 ○体力作り
D 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生活単元学習 ○交流会 ○春の遠足 ○施設見学 ○慰霊の日 ○臨海学校 ○お楽しみ会 ○現場実習 ○買い物学習 ○自然観察会 ○学習発表会 ○歌伝大会 ○コンピエータ学習 	<p>資料なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交流教育 ○産業現場における就業体験 ○平和学習 ○環境教育 ○クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポーリング大会 ○自然散策 ○工作・絵 ○ウォーキングでさわやかダイエット ○日常生活の充実を図る ○食事のマナーを知ろう ○簡単な料理を作ろう ○余暇の活用を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習に向けて ○買い物学習 ○宿泊学習 ○学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○野鳥について ○実習を頑張ろう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう ○進路学習(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習について ○修学旅行事前学習 ○夏休み作品展 ○体力作り
E 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生活単元学習 ○学校開き ○野鳥を観えよう ○現場実習 ○交通安全 ○宿泊学習 	<p>資料なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然観察会 ○学習発表会の展示に向けて ○学校の周りを調べよう ○図書館に行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然観察会 ○学習発表会の展示に向けて ○地区探検をしよう ○～市の産業について調べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然観察会 ○学習発表会 ○慰霊の日に向けて ○買い物学習を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校をきれいにしよう ○エコロジーしよう ○育樹祭をしよう ○野鳥について ○実習を頑張ろう ○臨海学校に行こう ○植樹祭をしよう ○広げよう、友達の輪 ○修学旅行に行こう ○みんな仲間だ、住みよい所 ○愛汗祭を成功させよう ○宿泊研修に行こう ○進路学習(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習について ○修学旅行事前学習 ○夏休み作品展 ○体力作り

卒業生における知的障害養護学校の「総合的な学習の時間」の検討

E養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ○樹蔭の日 ○避難訓練 ○誕生会 ○敬老の日 ○運動会 ○就労月間 ○学習発表会 ○まとめ 		<ul style="list-style-type: none"> ○学習発表会の展示に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ○～市新庁舎に行こう ○～市漁港に行こう ○修学旅行に向けて ○就業体験に関するビデオ学習 ○卒業後の生活を考える ○国際交流教育 ○交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○産産物を使って作品を作ろう ○宿泊学習に向けて交流 ○海産物を使って作品を作ろう 		<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解 ○余暇活動 ○環境学習
F養護学校	<ul style="list-style-type: none"> 生活単元学習 ○学級作り ○新入生歓迎会 ○現場実習に向けて ○夏休みに向けて ○運動会で頑張ろう ○就労月間 ○林間学校に向けて ○展示即売会に向けて ○買い物学習に向けて ○お楽しみ会に向けて ○役員選挙に向けて ○お別れ遠足について 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体清掃 ○トライアスロン ○すのこ作り ○現場実習のオリエンテーション ○交流 ○現場実習 ○野田の森探検 ○分相区域清掃 ○夏祭りに向けて ○林間学校に向けて ○フルーツラント植木 ○交流会に向けて ○環境 ○一鉢作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ海神祭 ○即売会を成功させよう ○光の村養護学校交流会 ○生産物展示即売会 ○生産物のプレゼント ○地域・社会 ○チャレンジキビ収穫 ○卒業式 ○ジャガイモ収穫 ○地域社会体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ海神祭 ○即売会を成功させよう ○光の村養護学校交流会 ○地域・社会 ○チャレンジキビ収穫 ○卒業式 ○ジャガイモ収穫 ○オオゴモダラを育てよう ○外国人と交流しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○海神祭 ○ALITの先生と融れ合おう ○光の村養護学校交流会 ○近隣校との交流 ○学校壁画制作 ○生産物展示即売会 	<ul style="list-style-type: none"> H16に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> H16に同じ ○新入生歓迎会 ○キャンプについてを追加
G養護学校	<ul style="list-style-type: none"> 生活単元学習 ○春の遠足 ○マリニアドバンドチャーム ○現場実習 ○慰霊の日 ○運動会 ○産業祭り ○産体連 ○進路 ○社会見学 ○生徒会役員選挙 ○まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会専門委員会をろう ○生徒総会 ○マリニアドバンドチャーム運動会のポスターを貼ろう ○夏休みの健康と安全 ○お年寄りとう交流しよう ○産業祭り ○養体連大会頑張ろう ○修学旅行 ○もちつき ○ポスターを貼ろう ○やきいも大会 ○卒業生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> H12に ○社会見学を追加 	<ul style="list-style-type: none"> H12に ○平和学習 ○レク大会を追加 	<ul style="list-style-type: none"> H14と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> H14に ○やきいも大会を追加 	<ul style="list-style-type: none"> H16に ○新入生歓迎会 ○キャンプについてを追加

具体的な単元の推移は表4に示し、その説明を以下に記す。

A 養護学校

※平成12年度の年間指導計画書に「総合的な学習の時間」について表記されていないため、平成13年度と比較した。

平成11年度の生活単元学習とは共通した単元はなく、学習活動は「美化活動」や「交流教育」を主とした。

B 養護学校

平成11年度の生活単元学習から、「慰霊の日」が「平和学習」として、また「交流教育」が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

C 養護学校

平成11年度の生活単元学習から、「臨海学校」「交流教育」「愛汗祭」「宿泊研修」といった単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

D 養護学校 (H12の資料なし、H13年と比較)

平成11年度の生活単元学習から、「慰霊の日」が「平和学習」として、また「交流教育」「就業体験」といった単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

E 養護学校 (H12の資料なし、H13年と比較)

平成11年度の生活単元学習から「現場実習」「学習発表会」の単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

F 養護学校

平成11年度の生活単元学習から「現場実習」「林間学校に向けて」等の単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

G 養護学校

平成11年度の生活単元学習から「マリンアドベンチャー」「産業祭り」等の単元が「総合的な学習の時間」として引き継がれた。

H 養護学校

平成11年度の社会「身近な地域、沖縄県（沖縄の産業）」の内容を引き継いで、平成12年度の「総合的な学習の時間」に「沖縄の文化」「沖縄の芸能」等の単元が設定された。

2. 「総合的な学習の時間」の推移

(1) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」の授業時間数の推移

第2節1(1)において、平成11年度と平成12年度の教科、領域、領域教科を合わせた指導の授業時間数を比較することで、「総合的な学習の時間」における授業時間数がどのように確保されたかを見ることができた。ここでは、それ以降の平成12年度から17年度までの、「総合的な学習の時間」における時間数の増減を見ることで各学校の傾向を探った。

それぞれの学校における具体的な授業時間数の推移は以下の通りである。

A 養護学校……平成12年度の70時間からほぼ変化はないが、平成14年度のみ102時間と授業が多めに組まれる。

B・C・F・H 養護学校…平成12年度の70時間から変化なし。

D 養護学校……平成12年度は140時間に設定されたが、平成13年度は70時間、平成14年度は38時間、平成15年度以降は約60時間で、その後はほぼ変化なし。

E 養護学校……平成12年度は70時間に設定されたが、平成14年度以降は約35時間でほぼ変化なし。

G 養護学校……平成12年度の35時間からほぼ変化なし。

この傾向から、それぞれの学校の授業時間数について、多少の変動はあるものの平成15年度以降は時間の増減は見られない。従って、「総合的な

学習の時間」の授業時間数は近年において安定していることが分かる。

(2) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」のねらいの推移 (表3参照)

ねらいの推移については、それぞれの学校ともに、平成12年度に設定したもののから内容に多少の変化がみられるものの、平成14、15年から定着していった。中学部同様、A～H養護学校の8校ともに、ねらいは学習指導要領に沿ったものが多かった。

例えば、A養護学校は「学び方やものの考え方を身につけ、問題を解決したり、自ら積極的に取り組む態度を育て、自分の生き方について考えることができる」とあり、これは学習指導要領のねらいの(2)に基づいて設定されたことが考えられる。また、B養護学校のねらいは「自らの興味・関心に基づくことから課題を見つけ、自ら学び、考え、自分の意思で判断し、よりよく問題を解決する力を育てる」とあり、これは学習指導要領のねらいの(1)に基づいて設定されたものと考えられる。

この中でも特に、D養護学校は平成13年度から、H養護学校平成14年度から、ねらいに「進路」を盛り込んでおり、この点で中学部との差異がみられた。学習指導要領においても、中学部と高等部は内容がほぼ類似しているが、「進路」「就学体験」「職業教育」といった、項目が高等部には付け加えられている。県内高等部8校においては「進路」に関する単元が多く設定されているため、「総合的な学習の時間」で、生徒に卒業後の生活の意識を高めることが大きな目標の一つとして掲げられていることが分かった。

(3) 平成12年度から17年度における「総合的な学習の時間」の単元の推移

8つの学校において平成12年度に設定された「総合的な学習の時間」は、単元の入れ替えが行われ、平成14・15年度にはそれぞれの学校で定着してきた。具体的には、以下の通りである。(表9参照)

A養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習

の時間」における内容の例示とされる『交流』『体験的な学習』等に対応し、「交流教育」「臨海学校」「林間学校」等が学習内容として定着した。

B養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『進路』『交流』『体験的な学習』『興味・関心』等に対応し、「現場実習に向けて」「交流会」等が学習内容として定着した。また、沖縄県の地域性を表す単元として「慰霊の日」が設定された。これは、戦争を知ることにより、平和について考えることをねらいとしていた。

C養護学校

平成15年度から、学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『環境』『進路』等に対応し、「学校をきれいにしよう」「育樹祭りをしよう」「実習を頑張ろう」等が学習内容として定着した。また特に、「野鳥については他の学校には設定されておらず、「環境教育」を学校独自の観点で「総合的な学習の時間」に取り入れていた。

D養護学校

平成13年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『進路』『交流』『環境』『地域の特色』等に対応して定着してきた。この中でも特に、慰霊日について知り、考える「平和学習」の単元は他校よりも多くの時間設定されていた。また、平成16年度から『体験的な学習』である「宿泊学習」が盛り込まれた。

E養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流』『進路』等に対応し「交流」「進路講話」等が定着した。また、この学校の特色として、平成15年度には「農産物を使って料理を作ろう」「海産物を使って作品を作ろう」が設定された。さらに、平成17年度には「国際理解」「産業教育」といった単元が盛り込まれた。

F 養護学校

平成15年度から学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『交流』『国際理解』等に対応して定着してきた。特に『地域交流』が中心となった。

G 養護学校

平成14年度から、学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示とされる『体験的な学習』『地域の特色』『交流』『興味・関心』等の内容に対応して定着してきた。また特に、この学校の特色として、サツマイモを収穫し、みんなで楽しく食べる「やきいも会」が平成16年度から設定された。

本論文のまとめと今後の課題

沖縄県におけるそれぞれの知的障害養護学校、中学・高等部において「総合的な学習の時間」は平成12年度（2000）から導入された。学習指導要領によると、中学部は、平成11年度（1999）に告示、平成14年度（2002）から実施、高等部平成11年度（1999）に告示、平成15年度（2003）から実施となっていることから、沖縄県の実施は、移行措置の期間から開始されたことになる。

導入された平成12年度の「総合的な学習の時間」の内容は、平成11年度の、教科や領域・教科を合わせた指導の活動内容から「総合的な学習」に移行されたことが分かった。これから考えられることは、「総合的な学習の時間」が導入された当初は、学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容の例示を参考に活動内容の決定が行われた可能性が高いということである。例えば、「総合的な学習の時間」に設定の多い「交流」は、平成11年度告示の中学部における学習指導要領の「総合的な学習の時間」における内容の例示に「交流活動」とあり、これが設定の根拠となったことが考えられる。

そして、「総合的な学習の時間」の実施の年に当たる、平成14年度からは、中学・高等部共に、生活単元学習や作業学習の内容を引き継いだ単元がある一方、他の領域や教科では見られない独自の単元も学習活動として設定され、「総合的な学

習の時間」の学習内容の定着がみられるようになった。中でも、中学・高等部共に「交流教育」の設定が多かった。ここでは「友達を理解する、協力する、コミュニケーション力を養う」ことがねらいとされ、児童・生徒が地域の友達や他の学校と交流を深める手立てとして「総合的な学習の時間」が設定されていることが分かった。また、中学部の特徴として、環境美化を中心とする環境教育の設定が多く、「植物・自然への興味・関心を養う（自然を大切に育てる）」ことがねらいとされていた。次に、高等部の特徴としては、「進路」に関する単元がそれぞれの学校で多く設定され、「将来の夢、進路を考える」ことをねらいとしていた。このことから、高等部では、教師が生徒に卒業後の自己の行き方、卒業後の生活を意識させることに力を注いでいることが明らかになった。さらに、「平和学習」も各学校で多く設定されていたことから、高等部では沖縄戦を通し、生徒が命の大切さを感じ、学ぶため時間としてこの時間を重視していることが分かった。

このように、沖縄県における「総合的な学習の時間」は、地域や生活に根ざした学習を活動に取り入れ、生徒と彼らの住む地域との繋がりを培うための有効な時間となっているといえる。

しかし、学校によってはこの「総合的な学習の時間」の授業時間数が近年、削減されている所もある。例えば、そうした学校の一つは、削減した時数分を生活単元学習に当てていた。これから、「総合的な学習の時間」と「生活単元学習」における学習内容の相違について、まだ明確になっていない学校があると考えられる。従って、それぞれの学校で、「総合的な学習の時間」のねらいの共通理解を図り、その上でねらいを汲んだ学習内容の検討を重ねることが重要となると考えられる。

こうして、沖縄県で2000年に導入された「総合的な学習の時間」は、学校現場で試行錯誤が繰り返され、2003年からやがて学習内容の定着がみられるようになった。しかし、2007年にこの「総合的な学習の時間」が削減されるという方針が出された。現行学習指導要領が1999年に告示されてから、わずか8年を経ての改訂となる。今回の結果から、学校現場では学習内容について未だまとまっていな所もあることから改訂は時期尚早であり、

今の状況での削減はさらなる混乱を招くことが想定される。児童・生徒に主体性・自主性といった「生きる力」を養うことを目的とする「総合的な学習の時間」の重要性を今一度考え、どう捉えるかが今後必要となるだろう。

序 註

- 1) 高階玲治 (1999) 総合的な学習の時間—自ら学ぶ力をどう育てるか—。ぎょうせい
- 2) 三浦光哉 (他)。 (2001)。 障害児教育の「総合的な学習の時間」。 田研出版：16
- 3) 富永光明 (他) (2003)。 近畿2府4県における知的障害養護学校中学部・高等部の「総合的な学習の時間」に関する研究。 大阪大学研究紀要第VI部門， 第52巻第1号：113-138
- 4) 渡辺健治 (1997)。 戦後知的障害児教育方法史の研究。 特殊教育学研究：43-49 第24巻5号
- 5) 清水貞雄 (他) (1997)。 障害児教育の課程・方法。 培風館：68
- 6) 沖縄県立名護養護学校、沖縄県立美咲養護学校、沖縄県立大平養護学校、沖縄県立島尻養護学校、沖縄県立西崎養護学校、沖縄県立八重山養護学校、沖縄県立宮古養護学校
- 7) 沖縄県立高等養護学校、沖縄県立名護養護学校、沖縄県立美咲養護学校、沖縄県立大平養護学校、沖縄県立島尻養護学校、沖縄県立西崎養護学校、沖縄県立八重山養護学校、沖縄県立宮古養護学校

参考文献

- 荒川智 (他)。 (2001)。 障害児の「総合的な学習の時間」。 全障研出版部
- 今谷順重。 (1999)。 総合的な学習と特色あるカリキュラム経営。 明書房

浦崎源治。 (2002)。 教育課程からみた「準ずる教育」の検討 (1) —知的障害養護学校における「総合的な学習の時間」をめぐる—。 群馬大学教育学部紀要， 人文社会科学編， 第51巻：261-272

金森祐次 (他)。 (2002)。 知的障害養護学校における「総合的な学習」の取り組みについて。 大阪教育大学障害児教育研究紀要， 第25号：103-110

佐藤富士夫。 (2005)。 学校における「総合的な学習の時間」の取り組み—行為・動作の理解習得を授業展開の中心に据えた指導—。 沖縄県立総合教育センター， 第38集研究集録：25-32

清水貞雄 (他)。 (1997)。 障害児教育の課程・方法。 培風館

高階玲治。 (1999) 総合的な学習の時間—自ら学ぶ力をどう育てるか—。 ぎょうせい

富永光明 (他)。 (2003)。 近畿2府4県における知的障害養護学校中学部・高等部の「総合的な学習の時間」に関する研究。 大阪大学研究紀要第VI部門， 第52巻第1号：113-138

西川崇。 (2004)。 盲・聾・養護学校における「総合的な学習の時間」の現状と課題。 九州教育学会研究紀要， 第32巻：211-218

文部科学省。 (平成11年)。 学習指導要領

三浦光哉 (他)。 (2001)。 障害児教育の「総合的な学習の時間」。 田研出版

三浦光哉 (他)。 (2003)。 特別支援教育の「総合的な学習の時間」。 田研出版

八幡ゆかり。 (2003)。 障害児教育緒学校における「総合的な学習の時間」の実践課題—徳島県下の実践を中心に—。 鳴門大学研究紀要第18巻：111-120

渡辺健治。 (1997)。 戦後知的障害児教育方法史の研究。 特殊教育学研究：43-49